

区が学校ブロック塀危険箇所を緊急撤去 通学路などの安全確認なども実施します



荒川区は、大阪北部地震でのブロック塀倒壊事故を受け、区内公共施設の点検調査を実施し、区議会に報告しました。報告では、一部ブロック塀等に亀裂や破損が見られたが、「直ちに危険に及ぶ」状況にないとの認識を示しました。

文教子育て支援委員会では、学校関係で道路に面した高さ2・2m以上のブロック塀については、5校で確認され直ちに撤去するしました。しかし学校には、既存不適格のブロック塀へ控え壁がないなどがあることも指摘され、

危険な箇所などチェック… 住民参加で地域防災マップづくりを

各ご家庭でも、日常的に通行する道路などの安全や避難先の確認など地図に落として簡単な防災マップをつくってはいかがでしょうか。全国的には、地震、水害などでの「防災マップづくり」が広く行われています。



またすべての小学校の通学路の、地震発生時の安全確認のための総点検をおこなうとしています。通学路の総点検も実施します。防犯の安全確認は行つてきましたが、地震については今回が初めてです。首都直下地震の危険が言われ続けてきました。さらに命を守る防災意識を子どもたちの中で高めるることは非常に大事です。通学路の防災マップ作りも併せておこなってはどうでしょうか。

「荒川区防災アプリ」を入れてますか？

荒川区は、スマートホン用（iOS、アンドロイド対応）の防災アプリを配布しています。地震モードでは、防災地図（区民モード、帰宅困難者モード）の閲覧できます。区のホームページからダウンロード

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

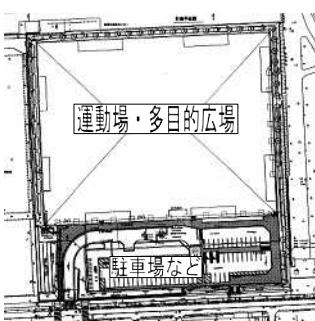
区政報告 ニュース

700

2018年7月1日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...



新尾久の原公園・東尾久運動場拡張工事も最終盤：
尾久の原公園にある東尾久運動場の拡張工事もいよいよ最終段階に入りました。今は、駐車場・トイレ・手洗い場の工事とともにグランド面の整備も進行中。ネットを張る支柱も据え付けられています。この議会で新しい運動場・多目的広場の使用料が提案されました。それによると1コマ2時間1000円、中学生以下400円となっています。現在よりも値上げになりますが、荒川区営運動場と同じ料金にしたということです。

現在はサッカーの公式コートは取れませんが完成後は可能です。議会でも様々な改善要望が出されています。今後、利用者ははじめ区民の声を聞いて、荒川区にとって貴重な施設をより良いものにしてほしいものです。（横山幸次）



裏面 荒川区で手話言語条例が制定…など

定例法律相談会

7月2日(月)
午後6時～8時

横山区議事務所
8月はお休み
(お急ぎの場合ご連絡下さい)

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ 後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

障害者
福祉…

荒川区で「手話言語条例」が制定の運びに 誰もがコミュニケーションのとれる地域へ



障害者の情報アクセス・コミュニケーション保障を求める政策...日本共産党

障害者のコミュニケーション手段の自己選択・自己決定を尊重し、社会参加を保障する「情報・コミュニケーション法」を制定します。

各地で手話言語条例が制定されており、手話言語法を求める意見書がすべての自治体で採択されています。手話言語法の制定を求めます。

読書や文字の読み書きに困難がある高齢者や障害者の「読書権」を保障し、公的機関などに読み書き（代読・代筆）情報支援員の配置ができるよう求めます。

アクセシブルな情報通信技術（ICT）の調達を政府に義務づけるとともに、「新技术」の開発段階からの障害者の参加保障を求めます。

障害者対応のATMの普及や、窓口対応の改善をすすめます。

紙幣について、サイズの差別化をはかり、さわってわかりやすくするなどの改善を求めます。

テレビとラジオが聴取できる携帯品「テレビラジオ」を日常生活用具へ指定するよう求めます。

人工呼吸器を装着した難病患者や重度障害者のコミュニケーションツールとして機器の開発を促進し、これらを補装具や日常生活用具の対象とするよう求めます。意思伝達装置の入力スイッチ設定支援制度を創設し、専門機器が支援できる体制を整備します。

テレビの解説放送や手話・文字放送を拡充します。

文化・スポーツ・レクレーションに誰もが親しめるよう、施設整備や環境づくりをすすめます

手話によるコミュニケーション手段を拡大する一步となります。そのため区は、荒川区の手話をにする施策の具体化を進めます。

手話を独自の言語・文化として位置づけ、手話を日本語とは違う独自の言語体系を持つた言語・文化として位置付け、地域でコミュニケーションを日本語と並んで使用する予定です。関係者のみなさんと文言の一言一句についても協議し条例策定したことには、画期的なことです。

語条例制定に向けた議論が区議会でおこなわれ、区も制定に向けた準備をおこないパブリックコメントを実施。開会中の6月会議に「荒川区手話言語条例」案が出され、6月25日の福祉区民委員会でが全会一致で可決しました。今後7月5日の本会議で決定する予定です。関係者のみなさんと文言の一言一句についても協議し条例策定したことには、画期的なことです。

全ての住民が意思の疎通と情報を共有できる
さらに情報・コミュニケーション条例の制定を

として遠隔手話通訳サービス・電話代行サービス・挨拶など簡単な日常手話修得の講習会事業者向けの手話通訳者無料派遣事業理解促進のための映画会（8月予定）条例制定記念イベント（11月予定）を実施するとしています。また、聴覚だけでなく視覚障害での点字や音声案内はじめコミュニケーション手段も大事です。この条例制定を契機に、障害者をはじめとした「コミュニケーション手段の自己選択・自己決定を尊重し、社会参加を保障する「情報・コミュニケーション条例」の検討も求めていく必要があります。

荒川自然公園が都市公園に位置づけ…何が変わる？

6月会議に、荒川自然公園を都市公園として位置づけるため、「荒川区立公園条例」に荒川自然公園を加える改正が成り立つことになっています（これまでの荒川自然公園条例を廃止）。こうすることで何が変わるのでしょうか。どうも都市公園になるとトイレ改修、遊具の改修にかかる費用を国や東京都が出すことになるというのです。これまで自然公園のトイレは老朽化して「きたない」の苦情が寄せられて区も順次改修工事をおこなっています。だったらもっと早く都市公園にしておけば良かったと思うのですが。どうも下水処理場の上に蓋をして作った公園を都市公園にすることに東京都が難色を示していたのです。しかし遅れて蓋をしてつくった他の公園は先に認めています。いずれにしてもこれを機にトイレ・遊具も含めて改修してほしいものです。



荒川自然公園案内図



左図の白いのが改修済み、白いのは今後改修予定のトイレ



今週のデータ 米軍への「思いやり予算」… 思いやりの相手が違うのでは？

削減や社会保障自然増
150億円の生活保護
財政が大変と脅して、
その一方で、国民に
は財政が大変と脅して、
なりません。
そこで、米兵の豪華な住宅から、
至れり尽くせりの状態です。他国との比較

支出し。米兵家族の豪華な住宅から、
なりません。そこで、米兵の豪華な住宅から、
至れり尽くせりの状態です。他国との比較

1293万円(10万6000ドル)

駐留米兵1人あたりの負担



削減など、思いやりをほし
いのは国民の暮らしのはずですが…。